

呼吸器外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「胸腺上皮性腫瘍における手術アプローチ別および臨床病期別の外科治療と予後に関する検討」
へ協力をお願い

(研究期間:倫理審査委員会承認日~2027年4月30日)

当院呼吸器外科では胸腺上皮性腫瘍に対する外科治療を行っております。胸腺上皮性腫瘍の治療方針は臨床病期分類をもとに決定されていますが、同じ病期でありながらも予後に差がみられることもあり、現在もその要因となりうる因子の研究がなされています。また近年の内視鏡手術の発展により手術アプローチも急速に変化しており、比較的痛みの少ない手術となってきましたが、腫瘍の再発形式や疼痛、鎮痛薬の使用について詳しく評価されているとはいえないのが現状です。術後の疼痛、術後合併症、再発形式、予後を解明するためには後ろ向き観察研究(今までの臨床データを解析して、治療成績や患者さんの自然経過を見させていただく研究)が非常に重要です。それゆえ、当科を受診された患者さんの以前のデータを解析いたします。

対象となるデータは、

(1) 外科切除前の情報として

- ① 患者背景情報：年齢、性別、内服薬、喫煙歴、自覚症状の有無、併存疾患の有無、既往歴、重症筋無力症合併の有無
- ② 身体所見：身長、体重、BMI(Body Mass Index)
- ③ 血液検査、腫瘍マーカー
- ④ 血液生化学検査
- ⑤ 呼吸機能検査：%VC(肺活量)、FEV1.0(一秒量)
- ⑥ 画像所見：胸部CT(腫瘍の部位、腫瘍最大径、腫瘍の内部構造)、PET(腫瘍、リンパ節のSUV max)、胸部MRI所見
- ⑦ 臨床病期

(2) 胸腺上皮性腫瘍切除術中の情報として

手術因子：術式、アプローチ方法、手術時間(コンソール時間)、麻酔時間、術中出血量、輸血の有無

(3) 胸腺上皮性腫瘍切除術後の情報として、

- ① 術後病期(正岡分類、WHO病期)
- ② 組織型術後WHO分類(遺伝子変異の有無を含む)
- ③ 胸腔ドレーン、縦隔ドレーンの留置期間
- ④ 術後疼痛(Numerical Rating Scaleを用いて評価)、術後鎮痛剤使用の有無及びその内容、投与期間
- ⑤ 入院期間
- ⑥ 術後合併症の有無
- ⑦ 術後治療の有無とその内容(化学療法、放射線療法)
- ⑧ 予後(全生存率、無再発生存率)
- ⑨ 再発形式(局所再発、遠隔転移)
- ⑩ 死因(原病死、他病死)です。

日常診療において行われているデータで対象期間は2004年6月1日から2026年3月31日までです。

この研究は、過去の診療記録を用いて行われますので、該当する方の現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。解析にあたっては、個人情報には匿名させていただき、その保護には十分に配慮いたします。当然ながら、学会や論文などによる結果発表に際しても、個人の特定が可能な情報は全て削除されます。この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡いただきたいと思います。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系 研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。この研究から生じる知的財産は研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈及び結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

2026年3月4日

連絡先:岐阜大学医学部附属病院 呼吸器外科 小室 裕康

電話：058-230-6000(内線 6849)